

都市再生整備計画 事後評価シート
半田歴史文化を辿るまち地区

令和2年3月

愛知県半田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	半田市		地区名	半田歴史文化を迎えるまち地区			面積	575.7ha																																				
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	903.4	国費率	0.4																																						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		<table border="1"> <tr> <th colspan="12">事業名</th> </tr> <tr> <td colspan="3">基幹事業</td> <td colspan="9">(都)土井山新居線、雁宿公園、サイン整備事業、半田運河周辺景観道路整備事業</td> </tr> <tr> <td colspan="3">提案事業</td> <td colspan="9">観光推進事業</td> </tr> </table>									事業名												基幹事業			(都)土井山新居線、雁宿公園、サイン整備事業、半田運河周辺景観道路整備事業									提案事業			観光推進事業								
	事業名																																														
	基幹事業			(都)土井山新居線、雁宿公園、サイン整備事業、半田運河周辺景観道路整備事業																																											
	提案事業			観光推進事業																																											
	当初計画から削除した事業		基幹事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																																				
新たに追加した事業		基幹事業		任坊山公園、半田赤レンガ建物南広場整備事業、半田赤レンガ建物南駐車場整備事業、半田赤レンガ建物屋外トイレ整備事業			[任坊山公園]うらおいを感じ、豊かに暮らせるまちづくりを目指すため追加 [半田赤レンガ建物南広場整備事業]地域住民と観光客の交流の増加を図るため追加 [半田赤レンガ建物南駐車場整備事業]より多くの観光客に訪れていただくため追加 [半田赤レンガ建物屋外トイレ整備事業]観光客等の利便性向上のため追加			[ふるさと景観形成支援事業]指標1『ミツカンミュージアム、酒の文化館、新美南吉記念館の来場者数』および指標2『「良い景観が形成されている」ことに対する満足度』の目標値を変更 [公園案内板整備事業]影響なし [上水道創設記念碑整備事業]影響なし																																					
交付期間の変更		当初変更		平成27年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響																																									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期																																		
	指標1	ミツカンミュージアム、酒の文化館、新美南吉記念館の来場者数	人/年	221,001	H24	235,498	R1	-	249,484	○	あり	半田運河周辺・岩渕地区における景観形成事業等により地域全体としての魅力が向上し、半田の歴史や文化を感じられるまちづくりが強化されてきている。ミツカンミュージアムへの来場者数の増加により指標に定める3施設全体の年間来場者数が増加した。ハード面とソフト面を連携させた観光プロモーション等により、施設間の回遊性をより高めることが望まれる。	令和2年7月頃																																		
	指標2	「良い景観が形成されている」ことに対する満足度	Pt	0.80	H26	1.42	R1	-	6.94	○	あり	半田運河周辺や半田赤レンガ建物周辺等において、本市の地域資源・歴史を活かした景観形成に資する事業を継続的に実施してきたことにより、半田らしい景観が形成されているエリアが線的・面的に広がってきている。このような継続的で一貫した取り組み等によって、市民の景観に対する満足度が向上し、まちへの愛着や誇りの醸成につながった。	-																																		
	指標3	「公園・緑地がきちんと整備されている」ことに対する満足度	Pt	1.15	H26	2.30	R1	-	4.94	○	あり	昔から市民に親しまれている雁宿公園の再整備や、任坊山公園において市民が自然と触れ合える水辺空間の整備を行っている。このように、公園の整備を進めてきていることにより、市民の公園・緑地がきちんと整備されていることに対する満足度が向上した。	-																																		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期																																		
	その他の数値指標1	半田赤レンガ建物の来場者数	人/年	319,892	H27			-	532,536			計画的に半田赤レンガ建物や建物周辺の整備を行ったことで、来訪者の新たな交流の場が創出されるとともに、屋外トイレや観光バス停留所の整備等によって施設利用の利便性・快適性の向上が図られた。このような取り組み等によって、半田赤レンガ建物の魅力が高まり、年間来場者数が増加した。	令和2年7月頃																																		
	その他の数値指標2	景観形成の取り組みによる「まちへの愛着や誇り」の向上	Pt	0	H26			-	5.42			半田運河周辺や半田赤レンガ建物等、本市の地域資源・歴史を活かした景観形成を進めてきたことや、その半田運河周辺でのイベントなどを通じた市民活動の場や機会の増加により、本計画期間において市民の「まちへの愛着や誇り」が、5年前と比較して高まった。	-																																		
	その他の数値指標3	公園利用機会の増加	Pt	0	H26			-	3.14			雁宿公園の整備に際して、地域の方の意見も踏まえて憩いの場としての整備を行う等、利用ニーズを踏まえて事業を進めてきたこと等によって、本計画期間において市民の公園利用機会が、5年前と比較して増加した。	-																																		
4) 定性的な効果発現状況	本市の地域資源・歴史を活かした景観が形成されてきている半田運河周辺において、半田運河の魅力を発信し、賑わいを創出するため、夜の半田運河にヒカリノ玉を浮かべる「Canal Night」や「HOTORIプロジェクト」による「brunch」や「SAKABA」などのイベントが新たに開催される等、観光客の誘客、市民活動の場や機会が増加している。このような、半田らしい景観が形成され、地域の活性化が図れたことで、マスコミに取り上げられる回数も増えており、半田市全体の知名度向上にもつながっている。また、鉄道会社と連携したウォーキングイベントにより、来訪者が増えている状況も出てきている。																																														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等																																							
	モニタリング	計画の実施管理		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○				次期都市再生整備計画時も、モニタリングを実施する。																																							
	住民参加プロセス	公園整備における住民との調整		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○				今後も、公園の整備や適切な維持管理に努め、うらおいを感じ、豊かに暮らせるまちづくりを進める。																																							
	持続的なまちづくり体制の構築	はんだ蔵のまちネットワークによる活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○				引き続き、はんだ蔵のまちネットワークにより、季節ごとのイベントやまち歩き企画、HOTORIプロジェクト等の本市の地域資源を活かした取り組みを推進する。																																							

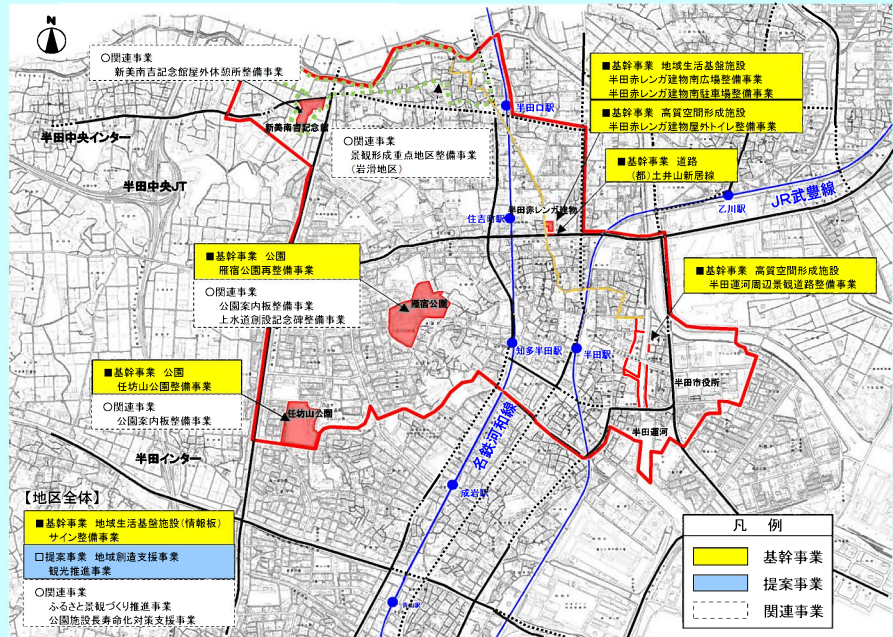
様式2-2 地区の概要

半田歴史文化を辿るまち地区(愛知県半田市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値			評価値		
大目標 誰もが皆、半田らしさを感じられるまちづくり	ミツカンミュージアム、酒の文化館、新美南吉記念館の来場者数	人/年	221,001	H24	235,498	R1	249,484	R1
目標1 半田の歴史や文化を感じられ、賑わいあるまちづくりを目指す。	「良い景観が形成されている」ことに対する満足度	Pt	0.80	H26	1.42	R1	6.94	R1
目標2 回遊性が高く、快適に移動できるまちづくりを目指す。	「公園・緑地がきちんと整備されている」ことに対する満足度	Pt	1.15	H26	2.30	R1	4.94	R1
目標3 うるおいを感じ、豊かに暮らせるまちづくりを目指す。	半田赤レンガ建物の来場者数	人/年	319,892	H27			532,536	R1
	景観形成の取り組みによる「まちへの愛着や誇り」の向上	Pt	0	H26			5.42	R1
	公園利用機会の増加	Pt	0	H26			3.14	R1

半田赤レンガ建物南広場整備事業

半田赤レンガ建物屋外トイレ整備事業

任坊山公園整備事業(令和2年2月10日現在)



半田運河周辺景観道路整備事業

事業前

事業後

雁宿公園再整備事業

まちの課題の変化	<p>【達成されたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 半田運河周辺において、地域資源・歴史を活かした景観形成を進めたことで、市民の景観に対する満足度の向上や、HOTORIプロジェクト等の新たなイベントにより、観光客の誘客と市民活動機会の増加につながった。 雁宿公園の整備に際して、地域の方の意見も踏まえて憩いの場としての整備を行う等、利用ニーズを踏まえて事業を進め、市民の公園利用機会が増加した。 任坊山公園の整備に際して、地域の方の意見も踏まえて自然と触れ合える水辺空間の整備を進め、市民の公園・緑地がきちんと整備されていることに対する満足度が向上した。 岩滑地区において、景観形成の取り組みや新美南吉記念館屋外休憩所整備等を進め、市民の景観に対する満足度が向上するとともに、新美南吉記念館来訪者の利便性や快適性の向上につながった。 観光サイン整備や、半田赤レンガ建物の広場整備等を進め、半田赤レンガ建物における来場者数が増加した。 <p>【残された未解決の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観計画を踏まえた景観形成を継続させていくとともに、半田運河周辺の歴史的景観を活かした観光振興として、さらなる賑わいの創出と地域経済の活性化を図る必要がある。 持続的に「本市の歴史文化(明治天皇の駐蹕碑や新美南吉の顕彰碑等)に触れることができ、魅力がある公園として利用できるようにする必要がある。 持続的に「自然に触れ合いながら安全に健康づくりができる公園」として利用できるようにする必要がある。 岩滑地区において、新美南吉に関わる施設やその周辺の回遊性を高めるとともに、景観計画を踏まえた景観形成を継続させていく必要がある。 鉄道の高架により東西交通をスムーズにする等、さらなる回遊性の向上を図る必要がある。 <p>【事業によって発生した新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光施設の来場者数が増加傾向にある中、「Canal Night」や「HOTORIプロジェクト」等の新たなイベントの開催等により、半田運河への観光客増が図れた。さらなる賑わいの創出と、地域経済の活性化のためには、回遊性を向上させることにより市内での滞留時間を延ばし、市内消費を拡大するとともに、ハード面とソフト面を連携させた観光プロモーション等により、観光の視点での取り組みを強化する必要がある。 半田運河周辺のみならず、中心市街地全体での賑わいの創出を図るために、名鉄多半田駅前から半田運河周辺にかけてエリア全体の回遊性向上や歴史・文化の感じられる良好な景観形成を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 本市の地域資源・歴史を活かした景観形成のための取り組みを継続する。 整備した公園が持続的に利用できるための取り組みを実施する。 官民連携による観光・交流活性化のための取り組みを継続する。 半田運河周辺におけるイベントの定着、利便性向上や地域経済活性化のための取り組みを実施する。 名鉄多半田駅前から半田運河周辺にかけてエリア全体の回遊性向上や歴史・文化の感じられる良好な景観形成のための取り組みを実施する。